

コンクリート乾燥遅延剤

アクアフィルム J-74

【コンクリート乾燥遅延剤／コテ仕上助剤／プレキャストコンクリート仕上助剤】

ひび割れから、守る。

コンクリート乾燥遅延剤

アクアフィルム J-74

コンクリートの仕上がりを、もっとキレイに



アクアフィルム紹介動画

左記QRコードをスマートフォン
やタブレット端末のバーコード
リーダーで読み取ってください。

こんな
お悩みの方!

- 直射日光や風による水分の蒸発によるプラスチック収縮ひび割れを防止したい。
- 高強度コンクリート使用時の作業効率を改善したい。
- コンクリートのコテ押さえの仕上がりの良さとコストもしっかり考えたい

プラスチック収縮
ひび割れ防止に
有効

有機成分配合の
エマルジョン(乳剤)

有機成分配合の乳剤がコンクリート表面に油膜を形成し、コンクリートの水分蒸発を防ぐことでプラスチック収縮ひび割れを防止します。

低コスト

水で10倍に希釈するので
非常に経済的

原液1に対し、水9の比率で希釈して使用。経済的で、コスト削減に貢献。

高強度
コンクリート
仕上助剤

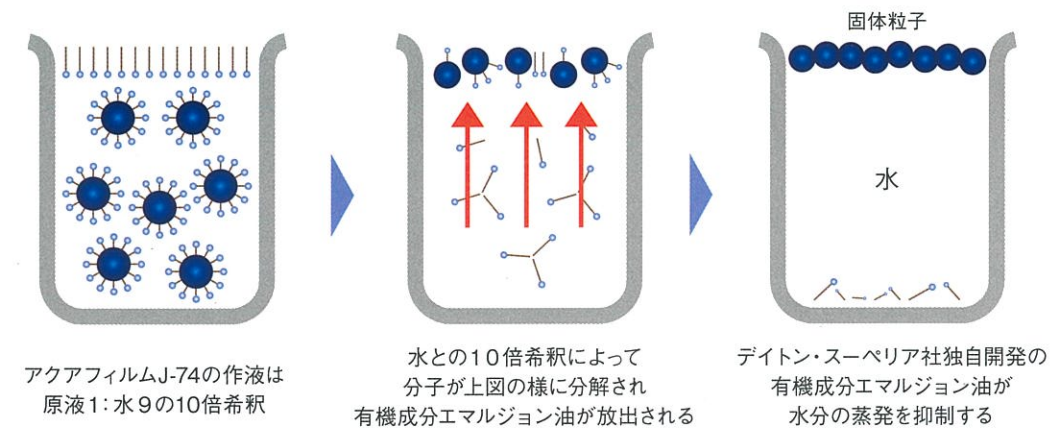
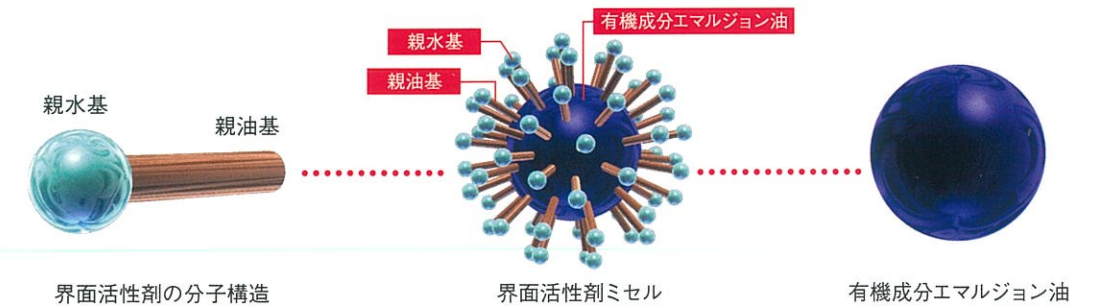
均し作業やコテ仕上げが
なめらかに、そして美しく

噴霧またはジョーロで散布するだけで高強度コンクリートの均し作業が劇的に変わります。

アクアフィルムJ-74の特徴

アクアフィルムJ-74は米国デイトン・スーペリア社が開発した有機成分配合エマルジョン性界面活性剤です。

アクアフィルムJ-74を散布することで生コンクリート打設後、有機成分配合エマルジョン油がコンクリート内部から表面に浮き出る水分蒸発を抑制してコンクリート全体の水和反応をしっかり促進させることで表層部を緻密化させプラスチック収縮ひび割れの少ない耐久性の高いコンクリートを作りコンクリートの仕上がりを良くする効果があります。



ひび割れ発生抑制効果試験 (当社実験データ)

【急激な乾燥による収縮ひび割れの低減】



大きさ1000×1000×150の型枠にコンクリートを打設し、一昼夜扇風機で強制乾燥された後のひび割れ発生状況



使用用途と作業工程例

- 気温が高い時
- 湿度が低い時
- 強風の時
- 直射日光を受ける時
- 冬場、暖房を使用し建物内でコンクリート打設を行う時
- 水セメント比の低いコンクリート／高強度コンクリートの時
- 低スランプの固いコンクリートの時

作業工程例

乾燥によるひび割れ防止剤



1 生コン打設



2 あら均し



3 定規ずり→トンボ引き→タッピング



4 J-74散布



5 コテ仕上

高強度コンクリート仕上げ助剤



1 生コン打設



2 あら均し



3 J-74散布(1回目)



4 トンボ引き



5 J-74散布(2回目)



6 コテ仕上

商品特性

コンクリート面仕上げ時に水分が蒸発することを大幅に抑制することにより、密で高品質なコンクリートを作り出す手助けを行います。通常の状態であれば乾燥収縮クラックが発生する期間にこの水分蒸発を抑制することにより、その間に適切な仕上げが可能となります。アクアフィルムJ-74は急速な乾燥条件の際に効果を最大限に発揮します。

施工面積

施工可能㎡数	1度撒き	2度撒き
5 ガ ロ ン 缶 の 場 合	1,860㎡	~ 930㎡
1 ガ ロ ン 缶 の 場 合	372㎡	~ 186㎡

梱包容量

【施工に便利な2種類】

- 5ガロン缶 (約19リットル)
- 1ガロン缶 (約3.8リットル)



施工方法

1. 良く振って攪拌したアクアフィルムJ-74原液1に対し、水9で希釈します。
2. 荒均し後直ちに、噴霧器かジョーロを使い均等にコンクリート表面に散布します。
3. アクアフィルムJ-74には青い染料が含まれていますが、この色は乾燥後、自然に消えます。
4. 乾燥状態の激しい場合、仕上げ作業の間に再度アクアフィルムJ-74を散布しても構いません。

使用上の注意

- ・十分な換気をして使用してください。
- ・お子様の手の届かないところに保管してください。
- ・保護服、手袋を着用してください。
- ・飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。
- ・内服しないでください。
- ・皮膚に付着した場合は、すぐに石鹸と水で、洗ってください。また必要に応じて医師の診察を受けてください。
- ・目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また必要に応じて医師の診察を受けてください。

- ・廃棄処分する際は、市区町村の規定に準じた処理をしてください。
- ・アクアフィルムJ-74は凍らないように注意してください。
- ・作液後は界面活性剤の油が揮発しますのでその日のうちに使用してください。前日の作液は推奨いたしません。
- ・アクアフィルムJ-74はパラフィン・アクリル系の養生剤ではありませんので、養生は通常の湿潤養生を行ってください。
- ・上記以外の事項についてはSDS(安全データシート)をご確認ください。

【販売元】